CHIGASAKI CITY COUNCIL PUBLICITY PAPERS NO.224 2023 SPRING

ちがさき市議会だより

224号
2023. 4 .30

令和５〈2023〉年４月30日　発行／茅ヶ崎市議会　編集／広報広聴委員会
ホームページアドレス　https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/gikai/

資源保護のため、再生紙を使用しています

議会だよりへのご意見募集中

■総括質疑…… １～３面
■常任委員会の審査内容…… ４～５面
■各議案等に対する討論…… ４～５面
■議案等の議決結果等…… ６面
■議会の情報…… ６面
■特集記事（令和５年度予算）…… ７～８面

令和５年度は浜降祭も開催予定

総括質疑（そうかつしつぎ）

総括質疑とは、市長の施政方針演説と各提出議案に対して、主に各会派の代表が行う質疑のことです（会派に属さない議員は個人で質疑を行う）。

３月に開催される第１回定例会でのみ実施されるものです。

９人の議員が質疑

第１回定例会の主な流れ

本会議
- 施政方針演説
- 議案提出
- 提案説明
- 総括質疑
- 委員会付託

特別委員会（予算審査）
- 案件の説明
- 質疑
- 討論
- 採決

常任委員会（議案審査）
- 案件の説明
- 質疑
- 討論
- 採決
- 陳情審査

本会議
- 委員長報告
- 討論
- 採決

「守勢から攻勢へ」

小島勝己

ちがさき自民クラブ

令和５年度予算編成について

質問　停滞していた活動等が活気を取り戻してきた中での予算編成だが、今後の財政の見通しは。

回答　令和５年度は多くの実施計画事務事業を予算計上した。財政健全化緊急対策で良化した財政状況が再び悪化しないよう財政指標等を注視し、財政の健全性を堅持することが重要であると考える。

子育て支援について

質問　小児医療費無料化における課題は。

回答　小児医療費無料化の所得制限及び一部負担金を撤廃し、令和５年７月から中学３年生までを対象とする。高校卒業までを対象とする自治体も増えるなど、本来は全国一律の制度とすべき施策であるため、補助の拡充を国や県へ引き続き要望する。

質問　部活動[※1]の地域移行における検討状況と課題は。

回答　中学校部活動の地域移行は、部活動指導の教育的意義等を継承しながら、地域団体と連携を図り、取り組んでいく。

※１　部活動の地域移行・・・公立中学校の休日の部活動を地域のスポーツクラブなどに移行する方針

２次元バーコードから実際の映像をご確認いただけます。

質問　中学校給食の進捗は。

回答　早期実施に向け、まずは先行して配膳室の設計・整備工事を順次実施する予定である。

子どもの未来のために

地域経済の活性化について

質問　「道の駅」開設が２年後に迫るが、整備の進捗状況は。

回答　道の駅は、地域経済活性化の起爆剤として位置付けて整備を進めており、年間約１００万人の来場者と約10億円の効果額を見込んでいる。今後、整備運営事業者から提出された企画提案書を基に、優先交渉権者を選定していく。

市立病院の今後の体制について

質問　地方公営企業法の全部適用への移行後のビジョンなどは。

回答　策定中の経営計画で将来ビジョンを検討し、病院の経営健全化をさらに推進する組織体制を構築していく。

DX※2について

質問　生活が便利になったと実感できるようなデジタル化施策は。

回答　窓口の利便性の向上は重要であり、デジタルの力を活用した「書かない窓口※3」の導入に向け準備をしており、早期の実現に向けて取り組んでいく。

青木　浩

絆・新しい風

令和５年度の重点的な施策を問う

災害に備えた対策について

質問　避難行動要支援者の個別避難計画作成と避難所受付のデジタル化等についての考えは。

回答　総合体育館の空調設備設置に合わせ、指定福祉避難所※4の設置を検討している。また、避難所運営のデジタル化による効率的な災害応急対策ができるようマイナンバーカードの活用やアプリ導入等の調査研究を進める。

地域の魅力発信について

質問　人を惹きつける魅力の発信には、茅ヶ崎が持つポテンシャルを最大限に活用する必要があると考えるが、見解は。

回答　地域の強みを捉え、その強みに対して最も共感いただける層に対して発信することで高い効果が得られる。近年の本市への転入者は約４割が５歳未満の子どもとその家族である。海辺の郊外都市の暮らしが子育て世代の共感を得られるよう、プロモーションサイト「#ちがすき」を中心に魅力発信に取り組む。

地域経済の活性化について

質問　新型コロナウイルス感染症は、市内事業者に大きな打撃を与えた。コロナ禍から回復するための事業者支援についての考えは。

回答　社会経済の回復期フェーズにおいて、少しずつ明るい兆しが見えてきた地域経済に「勢い」と「弾み」を付ける各種支援策を、戦略的に実施していく。

高齢者への支援について

質問　高齢者の健康増進や外出支援につながるよう、休憩するためのベンチを街角に設置してはどうか。

回答　休憩用のベンチの設置は、健康増進の一環として重要な視点であると認識している。平成28年度から各所に設置数を増やしており、令和５年度以降は、柳島スポーツ公園南側にベンチを新設する予定である。今後も、地元自治会や隣接地権者との合意形成を図り、街角へのベンチ設置について検討していく。

街角にベンチの設置を

子育て支援について

質問　中学校給食の導入は、市長の大きな政策の１つである。導入に当たり、予算も多い大型事業となることから、庁内一丸となって、取り組んでいくことが必要である。市長の決意を伺う。

回答　中学校給食の中心は中学生の方々である。令和５年度から実施する体験試食会を通じて、生徒の生の声を拾い上げ、教室に笑顔が広がり、「給食になってよかった」と言ってもらえるような中学校給食を目指していく。

滝口友美

公明ちがさき

市民の思いを確実につかんだ政策実現へ

茅ヶ崎市の魅力発信について

質問　Vチューバー※5の活用は経済活性化につながると考えるが、広報への導入について見解は。

回答　Vチューバーに関して調査研究し、情報の受け手を意識した発信をしていく。

子育て支援について

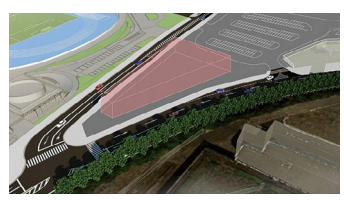
質問　小児医療費助成制度の高校卒業までの拡充についての見解は。

回答　対象の拡充は子育て施策の効果的な取り組みと認識している。助成を受けられるよう、引き続き国や県への要望を続けていく。

地域経済の活性化について

質問　道の駅を中心とした組織間ネットワークをどのように構築していくか。

回答　あらゆる主体が連携を図る必要があるため、整備運営事業者にその視点を求めている。


(旧)道の駅イメージ図

高齢者への支援について

質問　健康ポイント※6及びボランティアポイント※7の導入についての見解は。

回答　令和５年度以降は県の「マイME-BYO（未病）カルテ」アプリの活用事業を計画しており、地域の実情に合わせ取り組む。

デジタル化推進について

質問　「書かない窓口」の具体的な取り組みは。

回答　コンビニ交付や電子申請等を組み合わせ、ワンストップ窓口へのさらなる展開を期待し、将来を見据えたDXの優良事例となるよう取り組む。

障がい者への支援について

質問　民間企業における障がい者雇用のためのサテライトオフィスの活用推進について、市の取り組みは。

回答　サテライトオフィスの活用に関する情報提供を行い、障がい者雇用促進及び職場定着の支援に取り組む。

※2　DX…デジタル・トランスフォーメーションの略、最新のデジタル技術を駆使して戦略やプロダクト、業務フローなどを変革させていくことを表す概念
※3　書かない窓口…「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」を実現することで、地方自治体窓口の「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」の実現を目指す取り組み
※4　指定福祉避難所…災害時に，一般の避難所生活において何らかの特別な配慮を必要とする高齢者等が，安心して避難生活を送れる体制を整備した避難所のこと
※5　Vチューバー…バーチャルユーチューバー（virtual YouTuber）は、YouTube の投稿者としてアカウントを持ち、配信活動を行っているという設定の架空のキャラクターのこと
※6　健康ポイント…歩数、生活習慣、体重記録、血圧記録等のデータを日々マイ健康ポータルに登録することで貯まる仕組みのポイント
※7　ボランティアポイント…ボランティアを行いたいと思っている方が実際に活動するきっかけとなるよう、また、高齢者のみなさんの社会参加により、生きがいづくりや介護予防等につなげていただくことを目的とした制度のこと

岸　正　明

新政ちがさき

令和5年度の見通しは

保育園の待機児童について

質問　保育園の待機児童の見通しと年度途中の対応についての詳細は。

市長　令和５年４月入所に向け最終的な調整作業を行っており、厳しい状況ではあるが、待機児童が多い１歳児、２歳児の受け入れを増加させるため対策を講じ、１人でも多く入所できるよう、待機児童ゼロを目指して取り組んでいく。また、年度途中の転入については、就職相談会の回数の増加により、保育士の確保を支援するとともに、保育コンシェルジュ※8の相談日を増やし、入園につなげていく。

中学校の給食について

質問　中学校の完全給食について、試行を行っているが、今後の見通しは。

回答　令和４年度に学校運営の課題を抽出し、配膳室の整備に必要な整備項目などの検討につなげるため、円蔵中学校、萩園中学校で１週間試食するモデル事業を実施した。今後は、配膳室整備に向け設計業務を行い、順次整備工事を実施する予定である。調理業者の選定についても、ヒアリング等を進めているところである。給食の早期実施に向け、準備が整った学校から随時実施していくなど、取り組みを加速化させ、全力で取り組んでいく。

新倉真二

早川仁美

総括質疑をチームワークで！

柾木太郎

未来創生・湘風クラブ

令和5年度施政方針及び予算

施政方針の基本的な考えについて

質問　施政方針の策定と予算配分に当たり、特に留意した点は。

回答　今後は新型コロナへの対策を講じつつ、平常期への移行を意識してヒト・モノを動かしていく。未来を見据えて必要な事業に財源を配分した結果、予算総額は過去最大規模となった。先人が築き上げたまちの力や、ヒト・モノ・カネなどの行政資源を生かし、経営的視点でまちづくりを推進していく。

道の駅について

質問　柳島スポーツ公園等とのエリアとしての付加価値をつけていくのか。また、湘南エリアでの取り組みや2市1町での企画等はあるのか。

回答　近隣施設との連携を通し付加価値が生まれる仕組みは重要と考えている。今後選定される道の駅の整備運営事業者とソフト施策等の連携の仕組みを協議していく。本市及びこの湘南地区の魅力を体感できるよう、2市1町との連携も含めてしっかり取り組んでいく。

魅力ある道の駅を目指して

人にやさしいDXの推進について

質問　使う人にやさしいDXの推進についての考えは。

回答　情報システム等の導入段階から運用後の改修が容易となるよう留意し、使いやすさや満足度を踏まえ、きめ細やかな支援を行う。

小磯妙子

ちがさき立憲クラブ

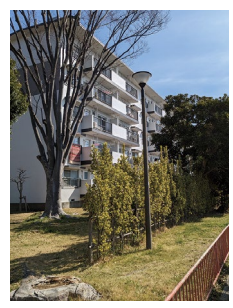
市民に信頼される市政を目指して

裁判提訴の経験をどう活かすか

質問　防犯灯電気料金の負担金等に関して、市民を提訴するまでには、分岐点があったはずである。市は再発防止のため、仕事の進め方の問題点を検証し、改善することが責務であると考えるが具体策はあるか。

回答　提訴に至るまで、さまざまな事情を考慮した上で、苦渋の選択であった。必要に応じて改善を行い、業務に生かしていく。

また、これまでの事務事業の内容や手法が適切かについて、不断の確認が必要である。市民との対話を通じた説明責任や情報の管理、業務プロセスの振り返り等の必要性を認識し、職員へ周知し、実践につなげ、市民との信頼関係の構築に努めていく。



団地の防犯灯

金田俊信

日本共産党茅ヶ崎市議会議員団

子育て支援の一層の充実を

小児医療費助成について

質問　助成対象を高校卒業まで拡大することについての見解は。

回答　県内でも高校卒業まで拡大している自治体が増えている。財政面の影響は大きいが、地域差のない、等しい助成が望ましいため、引き続き国への国庫補助制度の創設及び県への補助対象の更なる拡大を要望していく。

学校給食について

質問　小学校給食の無償化についての見解は。

回答　給食を無償化するには、年間約６億円の費用が必要となるため、他自治体の事例等を踏まえ、適正な学校給食費について調査研究を進めていく。

会派に属さない議員

杉本啓子

市民ギャラリー廃止は白紙に戻すべき

質問　市民ギャラリー創作室は桁違いの機能を持っていることを市が理解していない。廃止方針を白紙に戻すべきだが、市の見解は。

回答　利用者説明会でのご意見等を踏まえ、検討を続けていく。

桁違いの機能を有する施設

豊嶋太一

今後の障がい者福祉政策の取組について

質問　障がいがあっても住みやすいまちづくりの具体的な取り組みは。

回答　障がい者等への相談支援を担う基幹相談支援センターの設置により、より安心して生活できるよう相談支援の強化を進めていく。

茅ヶ崎初のインクルーシブ公園しろやま公園（ブランチ茅ヶ崎）

※8　保育コンシェルジュ…就学前の子どもの預け先に関する保護者の相談を受け、各家庭のニーズにあった保育サービスの情報提供や入所手続きの相談等を行う相談員

２次元バーコードから実際の映像をご確認いただけます。

総務常任委員会

今期定例会では、議案5件と陳情1件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　岸　正明
副委員長　阿部　英光
金田　俊信　水島　誠司　青木　浩　柾木　太郎

市民にやさしいデジタル化を

議案第1号　令和4年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第13号）　所管部分

委員会では全会一致　可決

主な事業費

情報化推進経費（1億1957万1000円増。「書かない窓口」に対応する支援システムを導入することに伴い、消耗品費等を増額するもの）

主な質疑

問　「書かない窓口」で手続きがどのように変わるのか。

答　これまで、紙の申請書に必要事項を記入して窓口に提出していたが、今後は、直接窓口にお越しいただき、職員の質問に答え、署名をするだけで手続きが完了する。

問　いつからスタートするのか。

答　令和6年3月を目指している。

問　マイナンバーカードを併用することで効率化も進むのか。

答　マイナンバーカードを活用することで事務のスピードは上がる。

問　DXを推進する上で、デジタル化に対応することが難しい市民を取り残さない気持ちを常に持つ必要があると考えるが、見解は。

答　「誰一人取り残さないデジタル化」はデジタル庁の考えでもある。「書かない窓口」のほか、コンビニ交付などの利便性拡大も検討しており、将来を見据えて取り組む。

消防団員報酬引き上げ

議案第25号　茅ヶ崎市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

委員会では全会一致　可決

議案の概要

消防団員の報酬の額を引き上げることにより、消防団員の確保を図るためのものです。

主な質疑

問　市の消防団員の充足率は。

答　令和4年4月1日時点で94・3％であり、ここ10年ほどは同様の数値で推移している。

問　令和3年に国から報酬額を引き上げる基準が示され、近隣市が増額する中、本市が令和5年まで引き上げなかったのはなぜか。

答　令和2年度から4年度までが財政健全化緊急対策期間であったことや消防の広域化に経費を要したこと等を考慮し、消防団に理解をいただき、今回の提案とした。

問　今回の改定で、報酬は近隣市と比較して同等程度になるのか。

答　同等水準の報酬になる。

消防団員として地域住民が活躍

都市経済常任委員会

今期定例会では、議案13件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　小川　裕暉
副委員長　木山　耕治
杉本　啓子　藤本　恵祐　山田　悦子　山﨑　広子　岩田はるみ

緑のまちづくり基金の用途を拡大

議案第17号　茅ヶ崎市緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例

委員会では賛成4　反対2　可決

議案の概要

緑地の保全に関する重要な調査及び研究にも緑のまちづくり基金を活用できるようにし、緑地の保全を推進するためのものです。

主な質疑

問　緑の保全に関する調査について、具体的な調査計画は。

答　令和5年度から7年度にかけて実施する自然環境評価調査に基金を充てることを計画している。

問　自然環境評価調査を行うに当たり、期待する効果は。

答　本市の自然環境を適切に保全するため、生物多様性の観点から現状把握と評価を行い、基礎的な情報を整備するものである。森林、水辺、海岸等の環境にいる生きものの生息状況を確認し、自然環境評価マップを作成することで、本市の自然環境の状況を理解する取り組みとなっている。

問　全国的に行っている調査なのか。

答　自然環境評価調査を回数を重ねて継続している自治体は、全国的にも少ないと認識している。

問　全国でも数少ない調査を実施しているならば、緑を大切に考える市としてPRすべきと考えるが。

答　本調査について他自治体から問い合わせはある。今後は、取り組みについてのPRも行っていく。

問　緑地取得のためには、財源の確保も必要である。基金を増やすための取り組みは。

答　緑のまちづくり基金の財源は、ふるさと納税、寄附、募金箱などであるが、新たな財源確保として、令和5年3月から企業版ふるさと納税の募集も始めている。

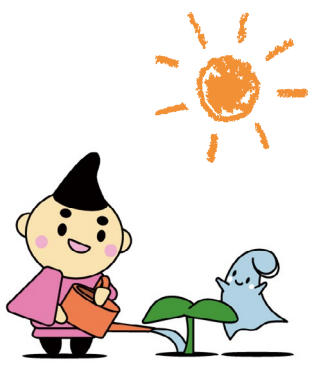
※9 自由討議を実施（主な意見）

・緑のまちづくり基金は、市街化区域の用地取得のための基金であり、今回の条例改正はその目的と逆行している。

・生物多様性も含めた調査研究は一般財源で確保すべきであり、緑のまちづくり基金は、用地確保のために活用すべきである。

・調査事業は緑の保全を推進する有効的なものと判断する。財源確保のため、歳入を増やす取り組みを積極的に実施することを求める。

・環境保全は、住み良い環境づくりにつながる。全市民にとって意義のある調査であると理解する。



賛成　公明ちがさき

令和5年度茅ヶ崎市一般会計予算

道の駅整備推進事業費は、従前の広報媒体と併せて民間団体への情報提供などを実施し、道の駅のオープンへ向けた機運を醸成すべき。市内全公立小･中学校体育館のエアコン設置は、災害時の避難所環境の向上にも必須である。

茅ヶ崎市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

現行の所得制限と一部負担金を撤廃する条例改正であり、さらに18歳までへの制度拡充を望む。

賛成　絆・新しい風

令和5年度茅ヶ崎市一般会計予算

国の掲げる「こどもまんなか社会」の実現のため、小児医療費の所得制限撤廃、中学校給食の推進等の子育て支援をさらに進めるとともに、子育て世帯が気軽に相談できる体制の構築を求める。また、高齢者・障がい者など配慮が必要な方への支援やコロナ禍で生きづらさを感じている方への切れ目のない支援に加え、令和7年オープン予定の道の駅をはじめとした地域経済活性化施策、コロナ禍により停滞した文化・スポーツ活動の機会の創出等、活気あふれる市民活動を一日も早く取り戻せるよう要望する。

賛成　ちがさき自民クラブ

令和5年度茅ヶ崎市一般会計予算

体育館管理運営経費では、総合体育館が大規模改修に伴い利用できなくなることで、利用者から代替施設を求める声があがっている。子どもたちにとっては1年半もの間施設を利用できなくなる影響は大きく、少しでも他の施設を利用できるような環境を整えるよう要望する。

茅ヶ崎市緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例

本改正に当たっては、議会内の全員協議会での説明、審議会での審議、市民へのパブリックコメントが行われた。基金を緑地保全の調査等にも活用できるようにする条例改正となるが、令和5年度から実施する自然環境影響調査をはじめ、広く市民を巻き込んで緑地保全の機運を高めるよう求める。

※9　自由討議…委員会の会議において議案等の審査に当たり必要に応じて委員同士の討議の機会を設け、多様な意見を踏まえ充実した議論を尽くす手法

２次元バーコードから実際の映像をご確認いただけます。

文化教育常任委員会

今期定例会では、議案8件と陳情1件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　滝口　友美
副委員長　水本　定弘
中野　幸雄　小磯　妙子　早川　仁美　長谷川由美　伊藤　素明

小児医療費助成の所得制限と一部負担金の撤廃（令和５年７月１日から）

議案第 21 号　茅ヶ崎市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

委員会では全会一致　可決

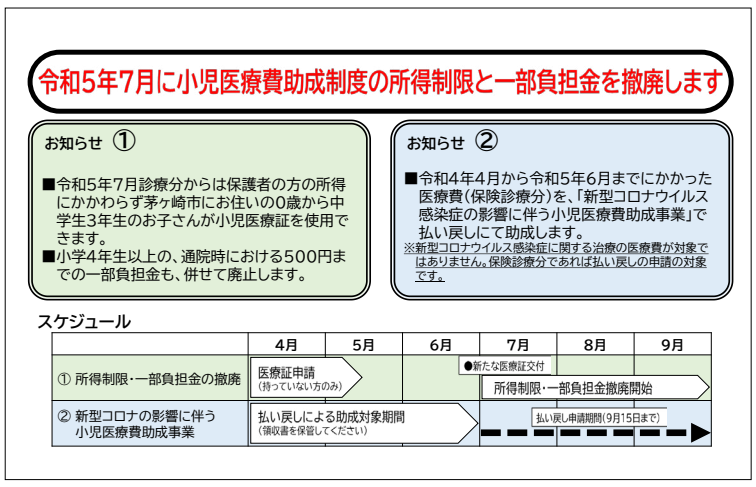
議案の概要

小児を養育する方の経済的な負担の軽減を図るため、４歳から中学３年生までの小児に設けている所得制限と、小学４年生から中学３年生までの小児に設けている５００円までの自己負担をすべて撤廃するものです。

主な質疑

問　令和５年７月から所得制限と一部負担金を撤廃するが、現在行っている新型コロナウイルス感染症の影響に伴う小児医療費の払い戻しについてはどのように周知をしていくのか。

答　払い戻しの助成対象期間は令和５年６月末までであり、その申請期限を同年９月15日とすることの周知は、払い戻しの申請受付時及び個別に案内をしていく。



小児医療費助成制度の改正内容

陳情を採択　方針の再検討を

令和４年陳情第９号　市民ギャラリー、茅ヶ崎駅前市民窓口センターの廃止に関する方針の変更を求める陳情

委員会では全会一致　採択

陳情の趣旨

市民の生涯学習を保障し、文化を支える施設である市民ギャラリー及び茅ヶ崎駅前市民窓口センターを廃止する方針の変更を求めるものです。

主な質疑

問　令和５年２月に実施した市民ギャラリーの利用者説明会での意見を市はどのように捉えているのか。

答　いただいた意見は存続を希望するものがほとんどであり、普段から施設がどのように利用されているのかを把握することができた。

問　利用者説明会等での意見を踏まえ、方針の再検討についての状況は。

答　今回いただいた意見は現在集計中であり、今後公表を予定している。パブリックコメント及びアンケート等でいただいた意見も踏まえて、再度検討して最終的な方針を決定していきたい。

環境厚生常任委員会

今期定例会では、議案7件と陳情4件を審査しました。主な案件について報告します。

委員長　岡崎　進
副委員長　菊池　雅介
豊嶋　太一　加藤　大嗣　広瀬　忠夫　小島　勝己　新倉　真二

指定ごみ袋の販売量が想定を超える

議案第１号　令和４年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第 13 号）　所管部分

委員会では全会一致　可決

主な事業費

清掃総務管理経費（５０８万円増。大型ごみ証紙及び指定ごみ袋の販売手数料について、当初の想定を上回る販売件数が見込まれるため、手数料を増額するもの）

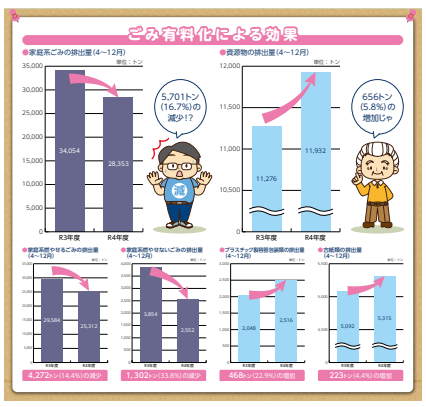
主な質疑

問　ごみの排出量の増減は。

答　令和３年と４年の４月から12月を比較すると、家庭ごみの量は約５７００トン、率にして16・7％減少した。

問　ごみの量が減少したにもかかわらず、当初想定していた販売件数を超えた理由は。

答　指定ごみ袋全体の販売枚数は当初の想定どおりであったが、単価の高い20リットル及び40リットルの袋の売り上げが予想以上であり、結果として販売額が増加し、販売手数料の増額につながった。



ごみ有料化で排出量が削減

出産育児一時金の額を引き上げ

議案第 22 号　茅ヶ崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例

委員会では全会一致　可決

議案の概要

健康保険法施行令等の改正に鑑み出産育児一時金の額を引き上げるとともに、国民健康保険法施行令の改正に伴い保険料の賦課（ふか）額の限度額及び保険料の減額の対象となる世帯の軽減判定所得の算定に用いる金額を引き上げるためのものです。

主な質疑

問　出産育児一時金50万円について積算根拠は。

答　病院の種別により費用は異なるが、厚生労働省が調査を行った結果、平均で約50万円ということから額が決定された。

問　保険料賦課限度額引き上げについての詳細は。

答　世帯合計収入１，１００万円以上の高額所得者層の世帯が対象となり、保険料賦課限度額の上限が１０４万円、世帯数は２４７世帯である。

問　制度の周知方法は。

答　７月以降郵送する納入通知書には制度が適用された金額が印字されており、併せて制度変更の案内を同封し、周知していく。

討　論

こんな理由で　賛成 or 反対

第１回定例会に提出された各案件について、採決の前に各会派などが立場を表明し、その理由を述べました。

反対　会派に属さない議員

茅ヶ崎市緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例

13 年もの間、基金によるまちなかの緑地取得はゼロであり、緑地は失われている。基金は緑地買い上げに使い、調査研究は一般財源を使うべきである。（杉本啓子議員）

反対　ちがさき立憲クラブ

茅ヶ崎市緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例及び関連予算

基金の使途を調査研究費にも拡大するものだが、調査研究費は一般財源等で捻出すべきであり、基金は緑地取得のために確保することが最優先である。

反対　日本共産党茅ヶ崎市議会議員団

茅ヶ崎市緑のまちづくり基本条例の一部を改正する条例

基金は、中長期的な視点から必要な金額を、一般会計からの繰り入れも含めて計画的に積み立てるべきである。市が緑地保全に対する姿勢を改めることを求める。

賛成　未来創生・湘風クラブ

令和5年度茅ヶ崎市一般会計予算

「守り」から「攻め」の施策展開となり予算規模は過去最大となった。全体的に攻勢基調の予算編成であるが、財政健全化の名残等により今一歩踏み込みが甘く、良い取り組みがもったいないと感じる事業も散見される。デジタル推進はＵＩ／ＵＸ※11 の観点を重視し、市民にやさしい展開を求める。

賛成　新政ちがさき

令和5年度茅ヶ崎市一般会計予算

小児医療費助成制度の所得制限と一部負担金の撤廃、ＳＳＷ※10 の拡充、子どもの居場所づくり支援事業の補助金拡大は評価するが、学校体育館のエアコン設置はさまざまなリスクに対応するため外気導入型にすることを求める。また、児童クラブの待機児童や中学校給食については早急な対応を求める。

※10　SSW…スクールソーシャルワーカー。教育の分野に加え、社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者で、問題を抱えた児童・生徒に対し、当該児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく人材

※11　UI/UX…ユーザーインターフェイス (User Interface) は Web サービスやアプリケーションなどにおいてユーザーの目にふれるすべてのもので、ユーザーエクスペリエンス (User Experience) はユーザーが商品やサービスを通じて得られる体験のことであり、互いにユーザーの満足度やサービス、商品の利用率へ影響し、業務効率アップなどにもつながる

議案等の議決結果等（令和５年第１回定例会）

○賛成　●反対

議案番号	件名	議決結果 本会議審議日	議決結果	ちがさき自民クラブ 小島勝己	岡崎進	広瀬忠夫	水島誠司	小川裕暉	水本定弘	絆・新しい風 青木浩	山田悦子	加藤大嗣	長谷川由美	木山耕治	公明ちがさき 滝口友美	山崎広子	菊池雅介	阿部英光	未来創生・湘風クラブ 柾木太郎	伊藤素明	岩田はるみ	新政ちがさき 岸正明	新倉真二	早川仁美	日本共産党茅ヶ崎市議会議員団 中野幸雄	金田俊信	ちがさき立憲クラブ 小磯妙子	藤本恵祐	会派に属さない議員 豊嶋太一	杉本啓子
議案第１号	令和４年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第13号）	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決に加わらず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第２号	令和４年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計補正予算（第５号）	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第３号	令和４年度茅ヶ崎市介護保険事業特別会計補正予算（第４号）	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第４号	令和４年度茅ヶ崎市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第１号)	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第５号	令和４年度茅ヶ崎市公共下水道事業会計補正予算（第４号）	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６号	令和４年度茅ヶ崎市病院事業会計補正予算（第６号）	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第７号	令和５年度茅ヶ崎市一般会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	●
議案第８号	令和５年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第９号	令和５年度茅ヶ崎市後期高齢者医療事業特別会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和５年度茅ヶ崎市介護保険事業特別会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和５年度茅ヶ崎市公共用地先行取得事業特別会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和５年度茅ヶ崎市公共下水道事業会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和５年度茅ヶ崎市病院事業会計予算	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第14号	茅ヶ崎市自治基本条例等の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第15号	茅ヶ崎市附属機関設置条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	茅ヶ崎市手数料条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	茅ヶ崎市緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●
議案第18号	茅ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	茅ヶ崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅ヶ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	茅ヶ崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び茅ヶ崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	茅ヶ崎市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	茅ヶ崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	茅ヶ崎市企業等立地等促進条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	茅ヶ崎市下水道条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	茅ヶ崎市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	３月１日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	教育委員会委員の任命について	３月１日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	動産の取得について	３月３日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第29号	市道路線の廃止について	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号の1から5	市道路線の認定について	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和４年度茅ヶ崎市一般会計補正予算（第14号）	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第32号	和解について	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第１号	茅ヶ崎市議会基本条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議会議案第２号	茅ヶ崎市議会委員会条例の一部を改正する条例	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第３号	茅ヶ崎市議会だより発行規程の一部を改正する告示	３月23日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	人権擁護委員の候補者の推薦について	３月１日	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情の審査結果

○賛成　●反対　△委員長のため表決に加わらず　－所属委員なし

会議の区分	件名		結果	ちがさき自民クラブ	絆・新しい風	公明ちがさき	未来創生・湘風クラブ	新政ちがさき	日本共産党茅ヶ崎市議会議員団	ちがさき立憲クラブ	豊嶋太一	杉本啓子
総務常任委員会	令和４年 陳情第16号	「萩園市民窓口センター」の廃止についての変更を求める陳情	閉会中継続審査※12									
文化教育常任委員会	令和４年 陳情第９号	市民ギャラリー、茅ヶ崎駅前市民窓口センターの廃止に関する方針の変更を求める陳情	採択	○	○	△	○	○	○	○	－	－
環境厚生常任委員会	陳情第４号	重度障害者の医療費助成に関する陳情	不採択	●	●	●	－	●	－	－	○	－
	陳情第５号	透析患者の通院への助成に関する陳情	不採択	●	●	●	－	●	－	－	○	－
	陳情第７号	コインパーキングに関する陳情	不採択	●	○	●	－	●	－	－	●	－
	陳情第９号	茅ヶ崎市の死者数増加に対する原因の調査に関する陳情	不採択	●	●	●	－	●	－	－	●	－

■ 全員協議会の開催状況

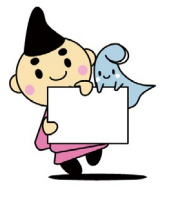
月	日	内容
1	26	【協議事項】 １．茅ヶ崎市職員の人財育成基本方針（素案）について ２．（仮称）松林地区地域集会施設等複合施設整備基本計画（素案）について ３．「茅ヶ崎市実施計画２０２５（素案）」について ４．「茅ヶ崎市国土強靭化地域計画（素案）」について ５．（仮称）茅ヶ崎市デジタル化推進方針（素案）について ６．第１１次茅ヶ崎市交通安全計画（素案）について ７．（仮称）茅ヶ崎市ジェンダー平等推進計画（素案）について ８．茅ヶ崎市空家等対策計画（素案）の改定について ９．茅ヶ崎市耐震改修促進計画（素案）の改定について 10．茅ヶ崎市総合設計許可基準の一部改正の考え方（素案）について 11．茅ヶ崎市道路整備プログラムの改訂（素案）について 12．「茅ヶ崎市営住宅等総合活用計画（素案）」について 13．ちがさき下水道ビジョン（素案）について 14．保健所・保健センターの整備について 15．茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスにおける指定管理者制度の導入について 16．第３次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画（素案）について 【報告事項】 17．茅ヶ崎市議会基本条例の検証について
2	17	【協議事項】 １．茅ヶ崎市行財政経営改善戦略（素案）について 【報告事項】 ２．令和５年４月における行政組織の改正について

■ 議会の動向

1月　16日　ICT活用推進協議会
　　17日　議会運営委員会
　　25日　静岡県静岡市議会議員10名が視察来庁
　　27日　ICT活用推進協議会
　　広報広聴委員会（10名）がオンラインで行政視察（長野県安曇野市）を実施
　　広報広聴委員会
2月　　2日　第24回茅ヶ崎市議会新型コロナウイルス対策会議
　　13日　ICT活用推進協議会
　　広報広聴委員会
　　21日　議会運営委員会
3月　　6日　第25回茅ヶ崎市議会新型コロナウイルス対策会議
　　8日　ICT活用推進協議会
　　20日　広報広聴委員会
4月　　5日　広報広聴委員会
　　ICT活用推進協議会

※議長の動向については、ホームページに掲載しています。
（「茅ヶ崎市　議長の動向」で検索できます。）

224号から市議会だよりがタブロイド判に



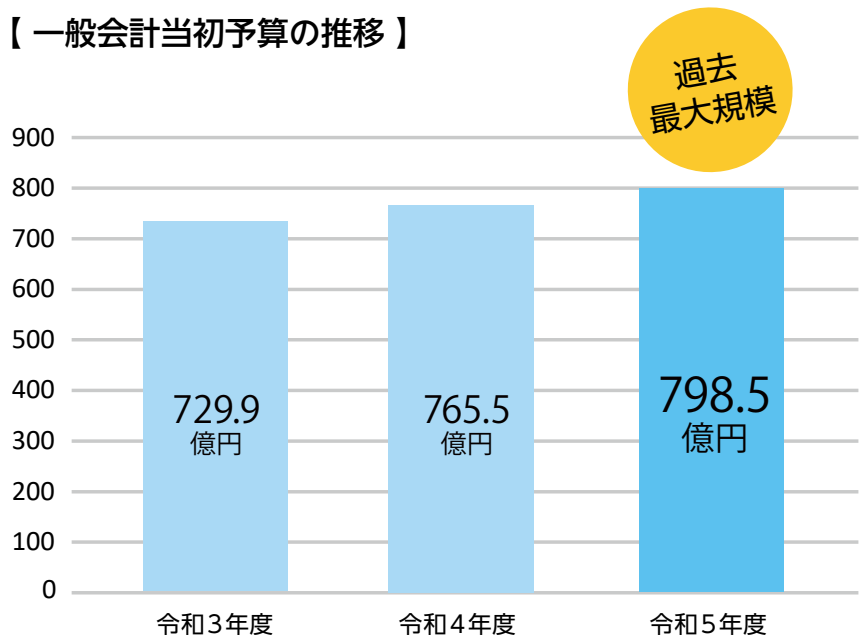
手に取りやすく、わかりやすく、読みやすくするため、今号からタブロイド判（オールカラー）へ変更しています。

※12　閉会中継続審査…会期中に結論が出ず、なお内容を調査検討するため、閉会中に継続して審査を必要とするもの

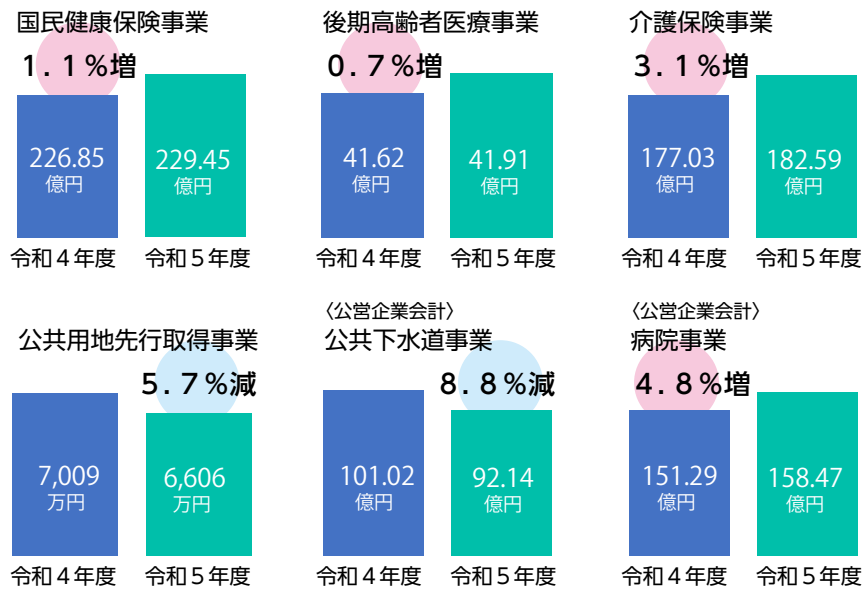
令和５年度予算の概要

令和５年度はコロナ禍からの回復期、さらには平常期に移り変わることを見据えて、「笑顔と活力にあふれ　みんなで未来を創るまち茅ヶ崎」の実現に力を入れた予算となっています。財政健全化を進めたことで生み出せた財源を有効に活用し、真に必要な施策を予算化したことで、一般会計予算では過去最大規模の予算額となっています。

【 一般会計当初予算の推移 】



【 特別会計当初予算の推移 】



※万円未満は四捨五入しています。

議会では多角的な予算審議を実施
～議会における予算審議の流れ～

市長による新年度予算案の提案及び施政方針演説

【施政方針演説要旨（抜粋）】

◆令和５年度は、新型コロナからの回復期から平常期への局面に移行し、「守り」から「攻め」へ大きくかじを切る年である。

◆市民活動や経済活動が活気を取り戻し、未来を担う子どもが夢や目標を持って躍動する「活気あふれる茅ヶ崎」の実現に向けて取り組む。

◆市民が抱える困りごとをしっかりと捉え対応する「人にやさしいまち」のために尽力する。

◆新興感染症や自然災害など、さまざまなリスクに強いまちをつくる。

◆財政健全化に取り組み、確保した財源をもとに茅ヶ崎の未来のために真に必要な施策を予算化し、過去最大規模の予算となった。

（写真は令和４年３月のものです）

市長が、新年度予算案を提案するとともに、どのような考え方や方針で市政を進めていくかを明らかにするため、毎年第１回定例会で施政方針演説を行います。

Check 1　総括質疑による質疑

◆市長の施政方針演説や令和５年度予算などに対して、各会派代表者等の９名の議員による総括質疑を行いました。

小島　勝己　青木　浩　滝口　友美
岸　正明　柾木　太郎　小磯　妙子
金田　俊信　杉本　啓子　豊嶋　太一

Check 2　予算特別委員会の審査

◆令和５年度予算について、より詳しく審査を行うため、予算特別委員会を立ち上げました。

○委員定数　10名

○審査日　３月９日、10日、13日、14日

◆事業の内容が効果的かどうか、歳入や歳出の見込み額が適正かどうかなどについて、４日間をかけて集中的に審査しました。

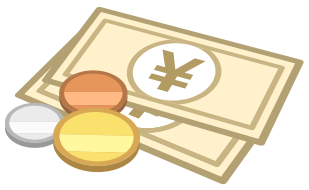
Check 3　討論・採決

◆予算特別委員会の委員長から審査報告を受け、各会派等による討論を経て、議会としての最終的な意思決定（議決）を行いました。

採決投票画面

特集　令和５年度予算

「守り」から「攻め」に転じた予算編成へ
～一般会計で過去最大規模の 798 億 5000 万円～



市の予算。それは１年間のお金の使い道をまとめたものです。令和５年度に取り組む事業の経費をとりまとめた予算７件について、市議会では「予算特別委員会」を特別に立ち上げ、４日間かけて集中的に審査し、「事業の内容やスケジュールは適切か」、「予算額が適正かどうか」などについて行政に質疑を行いました。

結果として、予算特別委員会では予算７件が全会一致で可決しました。その後、本会議で全ての予算が可決され令和５年度の予算が確定しました。

継続事業

PICK UP 1　中学校給食実施事業
7,248 万円

中学校給食を選択制デリバリー方式により実施するために、令和５年度は各中学校の配膳室の設計、体験試食会等を実施します。

配膳室の設計は、学校職員の意向を反映させる必要があり、庁内関係部署の連携を強化すべきと考えるが、見解は。

設計委託の発注は、教育施設課と契約検査課で行っているが、設計の進捗に合わせて、教育施設課、学務課及び各学校で協議を行いながら進める。

継続事業

PICK UP 2　道の駅整備推進事業
1 億 7,333 万円

令和７年７月のオープンを目指してＤＢＯ[※13] 事業者を決定し、オリジナルブランド「Choice!CHIGASAKI」の展開と市道 0121 号線の改良工事及び道路標識の検討・調査を行います。

道の駅を、新たな賑わいの場の創出につなげるための地域経済活性化の取り組みは。

道の駅が地域経済を牽引（けん）し、市内への回遊を促すことで、市全域で経済効果を享受できるよう、市内外のニーズをしっかりと把握する。「Choice!CHIGASAKI 」の展開と本市の魅力発信に努める。

新規事業

PICK UP 3　保健所庁舎整備事業
7,147 万円

令和８年度中の供用開始を目指して、保健所・保健センターの整備に伴う設計を令和５年度より行います。利用者の利便性や職員の執務環境に配慮するとともに、災害を含む健康危機への対応や、地域保健に関する事業を含め、安心安全な公衆衛生環境を市民に提供できる施設を目指します。

保健所庁舎整備にあたり、保健所の有するさまざまな機能を勘案し、使い手のニーズを踏まえる必要があるが、設計委託の進め方は。

具体的な設計等は、庁内で横の連携を図りながら行う。事業者選定の手法はプロポーザル方式[※14] を採用したいと考えている。

新規事業

PICK UP 4　クリエイターシティ・チガサキ形成戦略事業
495 万円

市内に点在する旧南湖院第一病舎などの国登録有形文化財や開高健記念館、ゆかりの人物館といった文化資源を生かし、新たな価値を創出する「クリエイターシティ・チガサキ」の形成を目指します。

ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟において、文学部門を選択した経緯は。

本市は開高健ゆかりの地であり、開高氏と共に活動をしていた方々が開高健記念館の運営に関わっている。文学活動の素地があり、新たな文学作家等の輩出につなげたいという思いから文学部門を選択した。

継続事業

PICK UP 5　スクールソーシャルワーカーの体制拡充
1,563 万円

スクールソーシャルワーカーを各学校に派遣し、多様な支援方法を用いて子どもたちが安心して成長できる支援体制・環境づくりを目指します。

不登校となった小学生の保護者に対する対応は。

学校を通して、スクールソーシャルワーカーを派遣し、保護者との面談を通して、保護者が抱える不登校への不安やその要因について把握し、支援方法の検討や学校との話し合いの場を設ける等の対応をしている。

継続事業

PICK UP 6　デジタル化推進事業
1,079 万円

デジタル化を推進し、さらなる利便性の向上や事務の効率化を図るため、電子申請を推進し、非対面・非来庁型行政サービスを推進します。

アンテナを高く張り、全国の自治体が行うさまざまなデジタル化の取り組みを情報収集し、市民の生活環境を向上するデジタル化を行う必要があるが、見解は。

市民のニーズを的確に捉えながら、臨機応変にプロジェクトチームなどの必要な組織を立ち上げて検討を進めていきたい。

その他の質疑

ごみの減量化と資源化の推進について、令和５年度は何をするのか。

ごみの分別に関する出前講座や環境学習に力を入れます。食品残渣（ざんさ）を減らすためのフードドライブ[※15] 事業等を行っていく。

総合体育館の改修工事について詳細を教えてほしい。

総合体育館の空調工事、トイレ設備改修工事、エレベーター改修工事を予定しており、工事期間は、令和５年 10 月から７年３月までの１年半となっている。

予算特別委員会で行った質疑は、録画映像を配信しています。
ぜひご覧ください。

３月９日（第１日）　３月 10 日（第２日）　３月 13 日（第３日）　３月 14 日（第４日）

令和５年度予算の詳細は７ページに掲載しています。

※ 13　DBO…Design：設計、Build：建設、Operate：運営の略であり、公共団体等が資金調達し、施設の設計、運営、維持管理、運営業務を包括的に民間事業者に委託する方式
※ 14　プロポーザル方式…建築設計等を委託する際、技術力や経験、プロジェクトに臨む体制などを含めたプロポーザル（提案書）の提出を求め、公正に評価して設計者を選ぶ方式
※ 15　フードドライブ…家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動